

令和8年度 第1回可美小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年5月14日（木）10：00～12:00
- 2 開催場所 可美小学校 きくももホール
- 3 出席委員 大畑耐智子 小野田和弘 杉本真弓 小野田哲也 城取良隆
越川真優子（学校支援 CD 兼務） 神田綾乃（学校支援 CD 兼務）
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 小野田康弘（浜松市議会議員）村上昌義（可美協働センター長）
- 6 学 校 大石泰三（校長） 高木悦代（教頭） 浅井美幸（主幹教諭）
長谷川明美（CS 担当教諭） 河合昭子（CS ディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CS ディレクター 河合昭子
- 9 開催要件の確認 司会の高木教頭から、委員総数7名全員出席しているため、会議が成立している旨の報告があった。
- 10 新規委員任命書・委嘱書の交付
新規委員、城取委員に交付された。
- 11 浜松市学校運営協議会規則の確認
高木教頭より資料に基づき説明があった。
- 12 議長の選出 大畑会長が議長に選出され、今後も大畑会長が議長とすることが全員一致で承認された。
- 13 前回会議録確認
- 14 協 議 事 項
 - (1) 学校運営の基本方針について
 - (2) いじめ防止のための基本的な方針について
 - (3) 夢育やらまいか事業 CS 加算分に対する意見書について
- 15 会 議 記 録
 - (1) 学校運営の基本方針について
議長の指示により、校長からグランドデザインに基づき、学校運営方針について説明があった。
委員より以下の意見があった。
○昨年度末の時に、遅刻が多いとの話だったが、今年度スタートしてどうなのか？
(小野田和弘委員)
→遅刻は家庭の事情が大きい。人数的には去年も今年もあまり変わっていない。
不登校気味の子供たちは、はあとルームができたことにより、はあとには行けるという安心感が大きいと思う。欠席は多くないので、頑張って登校しているし、ご家庭の方も送り出してくれている。（教頭より）
→ラーケーション制度が5月1日からスタートした。出席停止扱いになる。
休みが取りやすくなった。小学校はラーケーションの利用が多い。ゴールデンウィークや週末に合わせて取っている。（校長より）

○はあとルームに通っている子は何人くらいか？（大畑会長）

→入級 11人 入級はしていないが、給食だけ食べに来る子3人（長谷川教諭）

○欠席についての動向やラーケーションの光と影 次回教えてほしい。

はあとルームのおかげで居場所が増えて、欠席も減っているのだろう。ありがたいこと。

中学校も欠席が少ないと聞いている。小学校1年生も安心があるから落ち着いている。

小学校から中学校へうまく移行出来て、小も中も良いスタートが切れて良かった。

はあとルームに通う子は、学級とのつながりはあるのか？交流は？（杉本副会長）

→友達やクラス担任、クラスとのつながりは大切にしたいと思っている。

朝から登校している子は毎朝担任の先生のところへ顔を出しに行っている。

先生や友達と関わりを持つようにしている。運動会の練習も行ける子は行っている。

集団に入るのが苦手な子は行きたいけど行けないという思いがある。友達が関わってくれとすごく嬉しそうなので、大切にしていきたい。（長谷川教諭）

○参観をして、生成AⅠが使われていた。生成AⅠを使って先生たちは上手く活用できているのか？（小野田哲也委員）

→骨組みは出来ても、その先は気を付けて使っていないといけない。任せてしまうのはよくない。まず教員が使っていく。子供たちはまだ学校では使っていない。（校長より）

○若い人先生、ベテランの先生 年齢によって感覚が違う。教え合い、業務の負担が

小さくなり、先生たちが早く帰れるようになればいいと思う。（小野田哲也委員）

○車で送る人が減っていると思うが、禁止されているのに、学校に車で送る人がいるので何とかできないか。車で送る場合は、可美公園に車を止めて学校に送るというルールになっているが、遅刻ぎりぎりの人にはうまく機能していない。警察にも相談し、渋滞にならない流れを作れないかと思っている。（城取委員）

→通学路は通行禁止の時間帯もあり、対応は難しい。（小野田オブザーバー）

→遅刻しないように車での送りを許可してしまうと、車をもっと増える。歩いている子供たちにとっては危ない。事故の観点からも避けたい。子供が危ないので、許可することは出来ない。線路を超えた道路で、車から降りるのを見かけるが、それでも子供たちにとっては危ない。車で送る人に声をかけるなら、ここで降ろすと危ないですよ くらいは言ってもいいと思う。（大畑会長）

○昨年度はあとルームが設置され、安心して過ごせる場所になりつつあると聞いている。

学校が誰にとっても安心できる場所となっているのがいい。（越川委員）

○参観をさせてもらったが、子供たちは静かで落ち着いていた。墨の作品はとても芸術的だった。（神田委員）

○なかよし学級、はあとルーム、通級指導教室が設置されていて、フルスペックの学校だと思う。ほかの学校に先駆けてやっていることもある。外国籍も5%近くいると聞く。ご苦労はあると思うが、インクルーシブ教育が進んでいる学校。1年間宜しく願いたい。参観をさせて頂いたが、なかよしの1クラス当たりの児童数が少ないように感じたがどうか？（小野田オブザーバー）

→少なくしているわけではない。定数に合わせて学級数が決まっている。

学年等組み合わせるとバランスでそのような人数になった。（校長より）

○ICT教育でタブレットを使い、また書き取りや墨で表現した作品を見た。デジタルとアナログを両立し、両方を評価してバランスよく学んでいける環境を作って頂けるといいと思う。
(村上オブザーバー)

学校運営の基本方針について、全員異議なくこれを承認した。

(2) いじめ防止のための基本的な方針について

議長の指示により校長より、資料に基づき説明があった。

感度をあげていく。認知する。重大事態にならないように早期対応をする。見逃しゼロ未然防止がとても大切。いじめや不登校の未然防止の対応を組織でしていく。

→認知の件数の推移から、認知の感度は上がっていると言える。

解消しているものもあるが、見守りを続けていく。(教頭より)

いじめ防止のための基本的な方針について、全員異議なくこれを承認した。

(3) 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について

CS加算分6万円の用途について高木教頭より説明があった。

委員全員が用途について承認した。

16 報 告 学校支援コーディネーターからの活動報告

昨年度1年間の振り返りをボランティアさんで行った。注意事項をまとめ、CSだよりに掲載した。

1年生の給食ボランティアを行うことが出来た。3週間継続して保護者の方中心にやって頂いた。ソーイング、探検の付き添い、インタビューなど現在ボランティア募集中。

17 連 絡

・次回開催日時 令和8年7月24日(金)10:00~12:00 きくももホール
昨年度と同じように、職員も参加で会議を行いたい。